

せんなん里海公園で見かける生き物

冬から春

カワセミ

全長 17cm。くちばしは体の割りに長い、魚取りにすぐれた鳥です。日本では全国にすんでいます。巣は土崖に横穴を掘ってつくります。海岸や川などの水辺に生息し、せんなん里海公園田山川河口などにもあらわれます。



ジョウビタキ

全長 15cm。オスは頭が銀白色、顔は黒色、腹は赤茶色。メスは体が灰色味のある茶色。翼に白斑があります。ぴょこんとおじぎをして尾をふるわせる、かわいい冬鳥です。

モズ

全長 20cm。日本では全国の平地から低山地の農耕地や林縁、川畔林などに生息して、繁殖しています。小さなからだなのに、くちばしはタカのようにカギ型をしており、小鳥を捕らえたりもします。モズはバッタやカエルなどのえものを串ざしにする変わった習性があり、公園の中でも見かけることがあります。

